(401)

注:平成27年度から、受験申込の際に 提出した、業務実績証明書記載欄の番号 を書くようになっています。

## 問題 I 解答用紙

		台	俗	誦	又	!			
部	P	¶	道	路	ζ				

受 験 番 号

1	•	l I																						
[紹	験業	務 そ	·の1]																					
( 1	-1)	業務	の名	称																				
	県	道					線	道	路	改	良	実	施	測	量	設	計	委	託	業	務			
( 1	-2)	発注	E 者名																					
			県	西	土	木	事	務	所															
(1	-3)	履行	期間																					
	平	成	2	3	年	4	月	$\sim$	7	月														
(2	)業	務の	目的																					
	本	業	務	は	`			県	$\mathcal{O}$	Щ	岳	部	に	あ	る	3	種	5	級	$\mathcal{O}$	観	光	道	路
で	あ	る	県	道					線	に	お	ζ\	て	`	1	•	5	車	線	的	改	良	を	行
い	`	安	全	で	走	行	の	し	ゆ	す	<b>\</b> \	道	路	논	す	る	J	と	で	地	域	の	発	展
に	資	す	る	<u>ک</u>	논	を	目	的	と	し	て	い	る	0										
(3	)業	務の「	内容																					
	L =	О	•	1	8	k	m	の	現	道	平	均	幅	員	W	=	3	•	5	m	を	1	•	5
車	線	的	手	法	で	W	=	5	•	О	m	に	拡	幅	す	る	業	務	で	あ	る	0	工	事
中	の	現	道	片	側	通	行	に	必	要	な	W	=	3	. (		n Z			<b>R</b> 了		5 7		り、
地	Щ	掘	削	時	に	鉄	筋	挿	入	工	を	併	用	し	`	急	勾	配	掘	削	を	可	能	に
し	て	路	側	擁	壁	を	計	画	し	た	0													
(4			の果た				<b>≠ 5.→</b>	خدا_	3		_	NII.	<b>→</b> L-	^	.t. Þ	,		r			kaka	_	F F.	<b>≠ 15-</b>
ماد_	私	は	` ' ' '	担、	当	技	術	者,	と	し、	て	業	務	全	般	を	把	握		\ -45	管	理、	技	術
者	を	補	佐	し	た	0 <b>₹</b> ₩	ま	た	\ ===	主	要	な	打	合	せ	に	す	ベ	て	参	加	\(\bullet \)	7.	技
術	的	課	題	•	業	務	上	問	題	点	0	早	期	把	握	•	解	決	に	寄	与	し	た	0
	験業		·の2] 	<del> </del>																				
(1	- 1) I目		の名称	),					ý 白	17 <del>1 :</del>	<b>{</b> {{	_	<del>/                                    </del>	$\triangle$	六	<i>I</i> —	$\triangle$	)Hrl	旦	⇒几	≓L	禾	<b>=</b> 1.	米
務	県	道							線	防	災	•	安	全	交	付	金	測	量	設	計	委	託	業
	-2)	発達	者名																					
			県				土	木	事	務	所													
(1	-3)	履行	期間				上	/ >	ず	477	ルル													
	平	成	2	4	年	9	月	$\sim$	2	5	年	1	月											
	7	IJΧ	<u></u>	4	++	J	刀	J		J	+	Т	刀		- <del></del> -	• —	/. <del>-</del>	•				/ <b>/</b> -		

(2	)業	務の目	的																					
	本	業	務	は	`	Щ	岳	地	帯	の	幅	員	Ø)	狭	٧٧	県	道	を	拡	幅	す	る	ĹΙ	と
で	`	安	全	で	走	行	の	し	易	い	道	路	논	す	る	_	논	に	よ	り	地	域	の	発
展	に	寄	与	す	る	_ ر	と	を	目	的	논	す	る	0										
(3	(3) 業務の内容																							
	L	=	O	•	4	O	k	m	区	間	に	つ	٧١	て	`	W	=	5	•	О	m	~	1	•
5	車	線	的	整	備	手	法	で	拡	幅	す	る	業	務	で	あ	る	0	時	間	止	め	通	行
等	0)	交	通	規	制	が	で	き	な	い	た	め	`	掘	削	量	が	少	な	<	`	現	道	~
の	影	響	の	少	な	い	発	泡	ス	チ	口	_	ル	に	ょ	る	軽	量	盛	土	に	て	路	側
擁	壁	を	計	画	し	`	詳	細	設	計	を	行	つ	た	0									
(4	) あ	なたの	り果た	した征	<b>殳割</b>	l																		
	私	は	`	管	理	技	術	者	と	し	て	業	務	全	般	を	把	握	し	`	部	下	を	指
導	し	た	0	ま	た	`	主	要	な	打	合	せ	に	す	ベ	て	参	加	し	`	技	術	的	課
題	•	業	務	上	問	題	点	の	早	期	把	握	•	解	決	に	寄	与	し	た	0			
[経	験業系	务 そ	の3]																					
( 1	(1-1) 業務の名称																							
	県	道				線	防	災	•	安	全	交	付	金	測	量	設	計	委	託	業	務		
(1	-2)	発注	者名																					
			県	中	央	東	土	木	事	務	所													
(1	-3)	履行	期間																					
	平	成	2	6	年	4	月	$\sim$	8	月														
(2	) 業 <del> </del>	務の目																						
	本	業	務	は	`	Щ	岳	地	帯	0	県	道	に	お	い	て	土	砂	•	落	石	等	の	災
害	を	防	止	す	る	\	논	で	安	全	で	走	行	の	し	易	い	道	路	と	し	`	道	路
利	用	者	や	地	域	の	安	全	に	寄	与	す	る	ک	と	を	目	的	と	し	て	γ\	る	0
(3) 業務の内容					_										_					_,		<u>.</u> .	_	
	落	石	対	策	と	し	て 	`	高	工	ネ	ル	ギ	<u> </u>	対	応	$\mathcal{O}$	落	石	防	護	網	を	計
画	L	た	0	ま	た	`	落	石	個	数	Ø	少	な	ζ)	笛	所	は、	落、	石	破	砕、	工	や	口
<u> </u>	プ	掛	工	を	併	用	し	`	通	常	の	落	石	防	護	網	と	す	る	J	と	で	施	工

注:平成27年度から、受験申込の際に 提出した、業務実績証明書記載欄の番号 を書くようになっています。

費	の	低	減	を	図	つ	た	0																
(4	)あ	なたの	の果た	した	役割	1																		
	私	は	`	管	理	技	術	者	논	し	て	業	務	全	般	を	把	握	し	`	部	下	を	指
導	し	た	0	ま	た	`	主	要	な	打	合	せ	に	す	ベ	て	参	加	し	`	技	術	的	課
題	•	業	務	上	問	題	点	の	早	期	把	握	•	解	決	に	寄	与	し	た	0			
2																								
(1	)業	務の名	<b>S</b> 称																					
	県	道							線	防	災	•	安	全	交	付	金	測	量	設	計	委	託	業
務																								
(2	)技	術上0	D問題	点と	その対	応	<u> </u>																	
	路	側	擁	壁	を	計	画	す	る	際	に	発	生	し	た	課	題	と	対	応	を	以	下	に
示	す	0																						
1	3	苍〉	包	ス・	チ	ロ、		ル	軽	量	盛	土	に	し	た	が	`	工.	期	•	工	費	•	買
	収	用	地	が	増	加	し	た	0															
2	車	圣』	<b></b> 且	<u> </u>	土	を .	上:	部	工	논	下	部	工	に	分	け	`	上	部	エ	を	軽	量	盛
	土	`	下	部	工	を	コ	ン	ク	リ	<u> </u>	ト	擁	壁	논	し	た	0						
3	5	安 泛	<b>主</b>	十 匀	算	を 1	丁 し	Λ,	<u> </u>	安 🤄	全(	生	をす	雀 訁	忍	L 7								
	コ	ン	ク	リ	<u> </u>	ト	擁	壁	を	現	地	$\mathcal{O}$	地	Щ	勾	酉己	に	近	い	1	:	О	•	5
논	し	た	Ţ	と	で	掘	削	量	を	低	減	で	き	`	形	状	が	ス	リ	ム	化	し	た	0
٦	れ	に	ょ	り	下	普	<b>5</b>	た		7	T 7	\$ <	_	Ŀ ₹	部 :	工	ŧ.	小	さ	<	な	り	`	工
期	•	工	費	•	買	収	用	地	を	低	減	す	る		と	が	で	き	た	0				
	安	定	計	算	に	つ	い	て	は	`	上	下	部	工	が	ス	リ	ム	化	し	た	Ţ	と	に
ょ	り	荷	重	が	下	部	工	~	集	中	す	る	ک	と	と	な	つ	た	が	`	近	隣	$\bigcirc$	標
準	貫	入	試	験	結	果	を	用	い	て	土	質	定	数	を	逆	計	算	し	`	安	定	計	算
に	使	用	す	る	ک	と	で	外	的	安	定	を	ク	リ	ア	し	Ο	K	と	な	つ	た	0	
(3	)業	務の	実施上			その	対応																	
	今	□	$\mathcal{O}$	業	務	に	お	V	て	は	`	県	道	0)	拡	幅	に	伴	う				市	道
の	改	修	は	民	地	0)	用	地	買	収	を	必	要	と	し	て	ζ\	た	0	そ	0	際	`	市
道	0	改	修	計	画	0)	比	較	が	な	٧١	た	め	`				市	側	が	復	旧	す	る
市	道	$\bigcirc$	幅	員	を	4	m	に	す	る	か	5	m	に	す	る	か	Ø	決	定	を	待	つ	間

に	作	業	が	止	ま	る	>_	ح	لح	な	つ	た	0	~	の	た	め	`	数	か	月	に	渡	つ
て	業	務	が	停	止	す	る	_	ح	が	予	見	さ	れ	`	工	期	厳	守	が	危	う	V	状
況	ط	な	つ	た	0																			
	そ	ر ۲	で	私	は	`	•	•	•	市	側	<i>(</i> )	意	思	決	定	を	迅	速	化	さ	せ	る	た
め	に	幅	員	4	m	の	場	合	と	5	m	Ø	場	合	の	線	形	•	構	造	物	•	エ	費
0)	比	較	を	作	成	し	`	•	•	•	市	側	~	提	示	し	た	0	そ	の	結	果	`	工
費	の	関	係	か	ら	幅	員	4	m	で	な	٧١	と	予	算	内	に	収	ま	ら	な	٧١	ΙJ	と
が	判	明	し	`	幅	員	4	m	に	決	定	し	`	作	業	Ø	滞	り	が	少	な	<	な	り
工	期	を	厳	守	で	き	た	0																
( 2	4)上訂	己(2)	) (3	) の対	が応に	ついて	、現	持点で	の評値	西					_									
	(	2	)	^	の	対	応	に	つ	い	て	は	`	下	部	工	を	コ	ン	ク	リ	<u> </u>	<u>۲</u>	擁
壁	논	し	た	) J	と	で	`	工	期	•	工	費	•	用	地	面	積	<i>(</i> )	低	減	に	寄	与	で
き	た	١ ر	ک	は	評	価、	で	き	る 3	논	考	え	る	0	_									
***	斜	面	に	計	画	す	る	構	造	物、	に	お	<i>\\</i>	て	は	`	比	較	表	を	現	場	毎一	に
作	成		て	形	式	•	価	格	等	を	決	定		て #	<i>(</i> )	る	が	`	今	後	は	斜	面	勾
配	に	よ	つ	て	適	用	で	き	る	形	式	. 7a	工	費	等	を	ま	논	め	て	_	覧	に	す
る		논	で、、	形	式	決	定	の	迅	速	化	を	図	りょ	た	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	논	考	え	る	0 <del>///-</del>		- <del>1</del> - <b>√</b>	
<u>~</u>	<i>-</i>	3	) /=:(	<i>(</i> )	対	応担	に	つ *-	<i>ل</i> ا الا	て	は	1.	待不	ちェ	<i>(</i> )	姿	勢	でユジ	なっ	\ TH	第	3	者の	^ ~
こっ	ちの	ら -	側	か	ら 0	提、、	案	を	行	う (エ	こった	ك بد	でフ	工	期	厳	守っ	が	実	現か	l I	た	D Fil	で
そ 等	のな		とめ	に	つ	いエ	て	は	評田	価地	での	き	るし	と **	考考	え 虐	る 1	0	し	かわ	ば	大生	切	図
守 の	を 工	早 夫	めも	に さ	入ら	手に	し 出	、 来	用 た	地と	の考	こえ	とる	ŧ	与	慮	し	て	い	れ	14	構	造	物
	<u>十</u>	後	は	C 用	地地	関	連連	<u>ホ</u>	資	料料	ク も	を早	め	。に	入	手	し		総	合	的	に	検	討
す	っる		رم ح	がで	T	期	厳	守	をを	ささ	ら ら	トに	推	進	1.	て	い	、き	たた	□ V)		以以	上	
	a)		_			\/\	/4人	.1	ت		·)	, _	1 112	~ <u>u</u>			•	٠	, _	*	0	<b>ツ</b>	<u> </u>	0